

2014年4月1日

草の根・人間の安全保障無償資金協力（バルバドス）  
太陽光発電システム設置計画プロジェクト署名式

3月28日、バルバドスにて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「太陽光発電システム設置計画」の署名式が行われました。本件を通して公立小学校校長協会は、供与限度額121,818米ドルの草の根無償資金を利用し、二酸化炭素削減及び生徒たちにより充実した環境教育を提供することを目的に、太陽光発電システムの設置を行います。

本式典は、手塚大使及び公立小学校校長協会のサンドラ・トンプソン会長代行をはじめ、ジェヒュ・ウィルシャー・エネルギー・通信省次官らの出席のもと行われました。

手塚大使は、挨拶の中で「本プロジェクトを通じて、生徒たちは再生可能エネルギーの価値について学ぶ貴重な機会を得ることになる。本件はベーシック・ヒューマン・ニーズにふさわしい案件であり、特に日・カリブ交流年にあたるこの年に、草の根無償を通じて支援できたことを嬉しく思う。」旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でバルバドスに対する開発支援を実施していきたいと考えています。

(了)



お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 220  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp